

円安等に伴う物価高騰の影響が深刻化、引き続き厳しい状況

収益確保のため一部業種で販売価格引き上げに踏み切る動き

～景況 DI 値は、前年同月比2.6ポイント上昇のマイナス2.6～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 9月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比42.0ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比15.9ポイント上昇のプラス47.4。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のプラス21.1、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス47.4。非製造業では、DI 値前月比21.0ポイント低下のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント低下のプラス36.9。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス36.9。非製造業では、前月比10.6ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.7ポイント上昇のプラス21.0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比21.1ポイント上昇のプラス10.6。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比24.8ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス15.8。非製造業では、前月比31.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比23.7ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比2.6ポイント上昇のマイナス2.6となった。製造業では、円安の影響も深刻化しており、一般食料品、繊維製品、紙・加工品、生コン、金属製品関連を中心に物価高騰に伴う原材料費や光熱費の値上がり、高止まり等コストの上昇が止まらない厳しい状況が続いている。収益確保のため、一部業種で販売価格引き上げに踏み切る動きも見られた。非製造業では、卸売業、運輸業で値上げ前の駆け込み需要が見られたが、燃料価格の高騰が続き収益の確保に苦慮している。各地区の商店街ではイベントの開催や需要喚起策の効果が表れ、好調に推移している。観光関連では、台風の影響等天候不順により入込客数が減少し、売上高、収益状況も悪化した。新型コロナの影響は少なくなり、国等の需要喚起策による消費の増大に今後期待が持てるものの、総じて県内景況は円安等に伴う物価高騰の影響が深刻化するなど、引き続き厳しい。今後も先行き見通しは不透明であり、予断を許さない状況が予想される。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

9月の全国倒産は、件数583件で、前年同月を13.9%上回り、5ヵ月連続での増加となった。負債総額は1,350億3,100万円（負債総額1,000万円以上）と、2年2ヵ月ぶりの2ヵ月連続の1,000億超えとなった。不況型倒産の構成比は71.4%（対前年同月4.2ポイント減）を占めた。

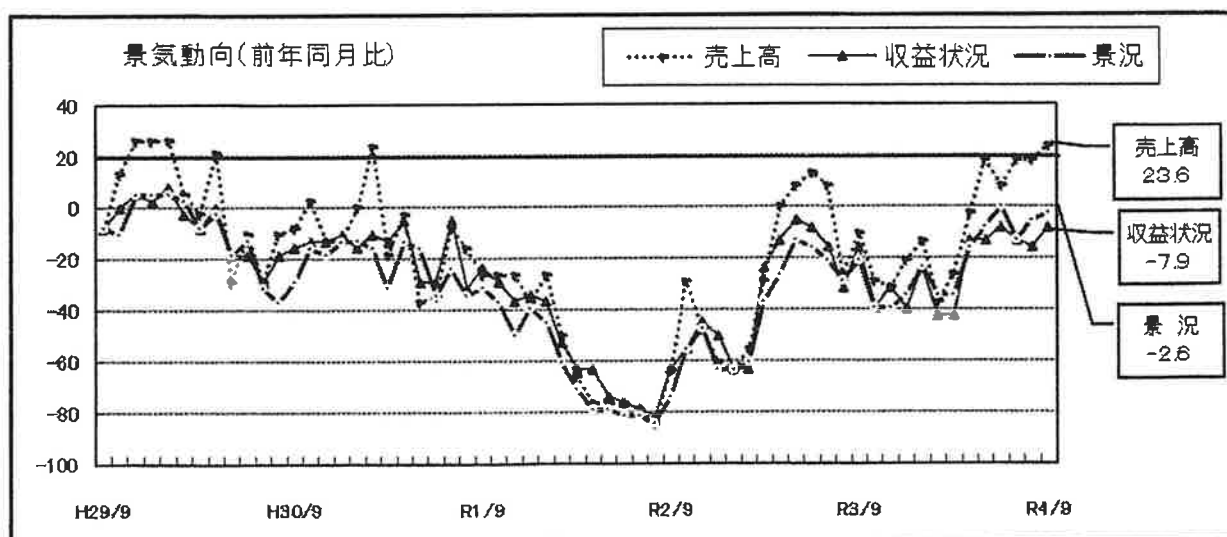
一方、9月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数5件（前月2件）、負債総額は3億3,100万円（前月17億1,000万円）、業種は「建設業」、「サービス業」が各2件、「不動産業」が1件。主因別は「放漫経営」が3件、「販売不振」が2件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報8月分」）

鳥取県の8月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.57倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.32倍）で、前月より0.03ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.47倍、米子所1.54倍、倉吉所1.76倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.91倍（季節調整値）で、前月より0.24ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比19.4%増加し、有効求人数は13.7%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業（66.4%）、運輸業・郵便業（38.1%）、卸売業・小売業（16.5%）、医療・福祉（15.1%）、宿泊業・飲食サービス業（13.3%）、公務・その他（7.3%）、サービス業（4.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比4.0%増加、有効求職者数は前年同月比0.9%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.40倍で、前年同月を0.12ポイント上回った。新規求人数は前年同月を13.8%上回った。



9月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	36.8%	15.8%	21.0 42.0	26.3%	31.6%	-5.3 -5.3	31.6%	23.7%	7.9 18.4
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 0.0	8.3%	16.7%	-8.4 -0.1	9.7%	9.7%	0.0 0.0
(3) 販売価格	21.1%	0.0%	21.1 -5.2	21.1%	15.8%	5.3 -21.0	21.1%	7.9%	13.2 -13.1
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	2.6%	7.9%	-5.3 -2.6
(5) 収益状況	10.5%	26.3%	-15.8 10.5	15.8%	31.6%	-15.8 -10.6	13.2%	28.9%	-15.7 0.1
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6
(7) 設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 10.6						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -21.1	0.0%	2.6%	-2.6 -10.5
(9) 景 況	5.3%	31.6%	-26.3 -24.8	0.0%	26.3%	-26.3 -31.5	2.6%	28.9%	-26.3 -23.7

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	31.6%	0.0 -5.3	57.9%	10.5%	47.4 15.9	44.7%	21.1%	23.6 5.2
(2) 在庫数量	21.1%	0.0%	21.1 0.0	8.3%	25.0%	-16.7 -41.7	16.1%	9.7%	6.4 -16.2
(3) 販売価格	47.4%	0.0%	47.4 5.3	47.4%	10.5%	36.9 -5.2	47.4%	5.3%	42.1 0.0
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	10.5%	15.8%	-5.3 10.5	7.9%	13.2%	-5.3 2.6
(5) 収益状況	10.5%	47.4%	-36.9 -0.1	36.8%	15.8%	21.0 15.7	23.7%	31.6%	-7.9 7.9
(6) 資金繰り	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	21.1%	10.5%	10.6 21.1	15.8%	13.2%	2.6 13.1
(7) 設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6						
(8) 雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	15.8%	21.1%	-5.3 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 -2.7
(9) 景 況	15.8%	31.6%	-15.8 0.0	26.3%	15.8%	10.5 5.2	21.1%	23.7%	-2.6 2.6

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費(小麦粉、油脂類)や光熱費(LP ガス、電気等)の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。一部製品の値上げを試みるも、収益性の改善にはつながっていない。

醤 油⇒ 販売価格は上がってきたが、それ以上に原材料費の高騰、光熱費の上昇が大きく、収益の改善には至っていない。円安の影響を受け、味噌・醤油ともに輸出が伸びているが一部の大手企業に限られ、業界全体の牽引にはなっていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 終わりの見えない円安により、製造コストの上昇は続いているが、販売価格の上昇には結びついていない。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 円安や原材料価格の高騰による最終小売値上げの転嫁は困難な状況にあり、来年以降の受注の値決めについても不透明な状況である。

【家具装備品】

⇒ 経費の上昇により収益を圧迫しており、業況は厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月に比べ減少。合板の生産量も前月に比べ減少した。原木価格は比較的落ち着いており、製材品価格も大きな変動はない。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 今年に入り原材料の高騰が顕著に現れていることから、12月から商品の値上げを決行することとなった。書道用の和紙は繁忙期に入るが、利益率の低い状態での操業が懸念される。

【印 刷】

⇒ 市場には積極的な気配も感じられるが、数字として表れていない状況。年末及び来年度に向けて見積り、相談の件数は増加傾向にある。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 9月の生コン出荷量は、前月比15%減少、前年同月比12%増加。各地区ともに大型プロジェクト事業が少なく、全体的に引き合いは低調。セメント価格は年末から年度末にかけて、再度値上げの様相が見受けられる。燃料費の高騰は、収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁も苦慮している。今月の出荷は、目標適正出荷量を大幅に下回っており、危機的状況となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件が少なく、地元相手の小規模業者は厳しいが、県外物件を受注出来ているところは忙しい。機械加工は、半導体等部品不足の影響により、納期遅れが続いている。自動車メーカーは部品不足が深刻で、減産が続いているものの、徐々に回復の兆しが見え始めている。

鉄骨加工⇒ 鋼材費の高騰は電炉材については一服感があるが今後の見通しは不透明。対する高炉材は徐々に価格が上昇しており、原価高騰が依然続いている。物件の出方も悪く県内主要ファブリーケーター（加工業者）では2ヵ月～6ヵ月と受注格差が広がっている。

金属熱処理⇒ 9月の受注状況は前月と比較して顧客の稼働日数の関係で受注量は増加しているが、景気低迷状態からは脱出できていない。業種別にみても自動車、建設機械、機械部品、エネルギー関係部品ともに好調と言える金属加工業種は見当たらない。電機、ガスなどエネルギー費の高騰は大きな影響をもたらしている。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の影響は残るが傾向が予想できる状況になりつつある。業界の動向は増産傾向にあるが、材料の動向に左右されている。依然人員不足状態が続いている。経営環境は厳しさを増すなか、利益確保は困難な状況である。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 卸売業の、青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少となった。果実は二十世紀梨等を中心に前年比で増加しているが、青果全体では、減少傾向が続いている。取扱数量は前月比で増加、前年同月比で減少となっている。また、鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少となった。取引量は前月比で増加、前年同月比で減少となった。

中部地区⇒ 顧客はほとんどの業種で原材料値上げによるコストアップに苦慮しており、事務効率を向上させる投資意欲に欠けるが、コロナ対策商品の需要は堅調に推移している。

西部地区⇒ 新型コロナ感染急拡大により一部で売上低下の動きが見受けられる。また、一部で半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。このほか、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられ、10月からの食料品、消耗品等の値上げの影響が懸念される。

水産物⇒ 2度にわたる大型台風のため、時化が多く水揚げが低迷した。巻き網は操業日数が少なく、昨年同月の4割程度の水揚げとなった。近海も時化の関係から底引きの安定した操業ができず、全体に高値で推移した。紅ズワイガニも昨年の7割程度水揚げとなり、年末需要にむけ例年の倍の浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 全体的に多少の変化があるものの、古紙相場、古紙の発生量は堅調に推移している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、街区内の空き店舗への出店がみられ、事業者の中心市街地への出店意欲の高まりが感じられる。一方、従前からの店舗はコロナ禍で疲弊しており、業態の転換が難しい店舗は資金繰り等に苦慮している。週末のイベントも多く開催され、人流は増加している。小売業では消費は戻らず、厳しい状況が続いている。宿泊関係ではWELOVE山陰キャンペーンなどの効果で、賑わいを見せている。飲食関係についても県のプレミアムチケットと市の振興チケットが追い風となっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、「銀座プレミアムグルメクーポン券」が延長となり、飲食店では活気が戻りつつあるが、一方で小売業ではあまり恩恵がなく、消費の促進に至らなかった。人流は増加傾向にあるものの、商店街まで人手が伸びて来ない。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、9月に「サンロードマーケット 井カレー部」を開催。天候も良く、約500人を集客し、全店舗で予定数全て完売となるイベントとなった。10月は「サンロードマーケット 井モーニング部」が行われる予定。

境港市の水産物小売では、感染者数が徐々に減少に転じ、落ち着きを取り戻してきている。境港の観光客数も少しずつ増加傾向にあり、直売施設も通常の営業に戻りつつある。9月はベニズワイガニ漁が始まり、平日も客足が少しずつ伸びてきている。観光シーズンに向け、売上回復が期待される。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、9月は例年より台風の発生が多く、連休最終日は台風の影響で鳥取砂丘への入込数はほぼゼロであった。以降は台風の影響がなかったことから入込数が増加した。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

米子市のホテル・旅館では、9月は閑散月であり、前月比では宿泊客数は減少となり、売上高は減少、収益状況も悪化した。前年同月比では、日帰り客、宿泊客数ともに増加したことから売上高は増加、収益状況も好転した。業界の景況は、コロナ感染者数が減少傾向にあることから、入込み客が増加傾向にあり、回復基調にある。

三朝温泉では、8月の実績として、温泉街では27日間連続で花火を打ち上げるなど、行動制限なしの夏休みを迎え3年ぶりに賑やかな夏となった。県の需要喚起策の影響により好調であった。

羽合温泉では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて2,274台で前月比35%増加、前年同月比は32%増加。継続検査台数（軽自動車を含む）は1,641台で前月比が16%増加、前年同月比は2%増加。中古車

(軽自動車を含む)は503台で前月比が23%減少、前年同月比は16%減少となった。一部メーカーの不正による新車販売の減少はあるが、滞っていた新車の供給が正常になりつつある。

【建設業】

⇒ 8月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額78億円(前年同月比6%増)、件数178件(前年同月比7%増)となった。年度累計(令和4年4月～令和4年8月)は、請負金額392億円(前年同月比11%減)、件数791件(前年同月比5%減)となった。市町村などが押し上げ、前年比で増加となった。設備投資は、単月、3か月平均ともに前年比マイナス。住宅建設は単月3か月平均前年比プラスとなった。さらなる建設資材や燃料価格の上昇に加え、深刻な人手不足により収益が圧迫され、採算の悪化が懸念される。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は299戸(持家152戸、貸家147戸)で、前月比17%増加、前年同月比37%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 9月の荷動きは、製造業で値上げ前の駆け込み需要があったものの、出荷量は概ね横ばいで推移した。また梨を中心とした青果物の出荷輸送があったが、全体としては低調な荷動きとなった。復路荷物の情報は増加傾向ではあるが、県内卸の荷物不足が続いており、効率の悪い運行が散見された。燃料価格の高騰が続く収益の確保、資金繰りなど厳しい状況が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいで推移している。

西部地区⇒ 燃料価格については、政府の燃料油価格激変緩和措置による補助金効果が一部認められたものの、依然として燃料価格水準は高い状況が継続、経営を大きく圧迫している。荷主の人員調整による生産は緩和され、受注は増加傾向に転じた。また、果実運送関連についても果実生産量が増加し、運送受注も増加となった。恒常的なドライバー人員の不足、県外大手運送業者の進出により、厳しい状況が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・金融支援(元本返済の猶予)の延長【一般食料品製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・特定技能生の退職が相次ぐうえ、賃金の高い他県へ流れていくため、受け入れ企業にメリットがなくなっている。最低賃金対策以外でも地域格差を埋める施策を望む。【電気機器製造業】
- ・需要に応じた需要喚起策を策定してほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・コロナ借入金の元本返済猶予及び売上減少に対応した救済措置を検討してほしい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	5.2
	非製造業	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	-5.3
	全業種	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	0.0
在庫数量	製造業	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-0.1
	非製造業	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	0.0
	全業種	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0
販売価格	製造業	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	5.3
	非製造業	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	5.3
	全業種	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	5.3
取引条件	製造業	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-5.3
	非製造業	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	10.6
	全業種	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	2.6
収益状況	製造業	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-10.6
	非製造業	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	-5.3
	全業種	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.8
資金繰り	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	5.2
	全業種	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.7
設備操業度	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	0.0
雇用人員	製造業	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.2
	全業種	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	2.6
景況	製造業	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-26.3
	非製造業	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	15.8
	全業種	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-5.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-15.7
	非製造業	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	84.2
	全業種	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	34.2
在庫数量	製造業	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8
	非製造業	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0
	全業種	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6
販売価格	製造業	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	21.1
	非製造業	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.9
	全業種	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	28.9
取引条件	製造業	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-5.2
	非製造業	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	21.0
	全業種	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	7.8
収益状況	製造業	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-42.1
	非製造業	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	57.8
	全業種	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	7.9
資金繰り	製造業	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	10.5
	非製造業	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	57.9
	全業種	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	34.1
設備稼働率	製造業	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.6
雇用人員	製造業	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.1
	非製造業	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	26.3
	全業種	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	13.1
景況	製造業	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-10.5
	非製造業	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	47.3
	全業種	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	18.5

情報連絡員報告総括表（令和4年9月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0
繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	0	2
木材・木製品	2	0	2	0	4	0	0	4	0	0	3	1	1	2	1	0	4	0	1	2	1	0	4	0	1	1	2
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	7	9	3	2	16	1	4	15	0	0	18	1	2	12	5	0	17	2	2	15	2	0	19	0	1	12	6
100%	36.8%	47.4%	15.8%	10.5%	84.2%	5.3%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	63.2%	31.6%
卸売業	2	3	1	1	4	1	1	4	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
商店街	1	2	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	0	0	4	0	0	2	2
サービス業	2	0	3				2	2	1	1	3	1	2	0	3	0	2	3	0	0	0	0	4	1	0	3	2
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
運輸業	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
その他																											
19	5	8	6	1	8	2	4	12	3	1	16	2	3	10	6	0	15	4				0	18	1	0	14	5
100%	26.3%	42.1%	31.6%	8.3%	66.7%	16.7%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	78.9%	21.1%				0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	73.7%	26.3%
38	12	17	9	3	24	3	8	27	3	1	34	3	5	22	11	0	32	6	2	15	2	0	37	1	1	26	11
100%	31.6%	44.7%	23.7%	9.7%	77.4%	9.7%	21.1%	71.1%	7.9%	2.6%	89.5%	7.9%	13.2%	57.9%	28.9%	0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	97.4%	2.6%	2.6%	68.4%	28.9%

情報連絡員報告総括表(令和4年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0
繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	0	3	0	0	1	0	1	2	0	3	0	0	1	2	0	2	1	1	1	1
木材・木製品	2	0	2	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	2	1	1	3	0	1	2	1	0	4	0	1	1	2
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送用機器																											
その他																											
19	6	7	6	4	15	0	9	10	0	1	16	2	2	8	9	2	14	3	2	13	4	1	16	2	3	10	6
100%	31.6%	36.8%	31.6%	21.1%	78.9%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	42.1%	47.4%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	52.6%	31.6%
卸売業	1	3	2	0	4	2	3	2	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	6	0	0	6	0
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0				1	0	0	1	0	0
商店街	2	2	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0				0	1	3	0	3	1
サービス業	5	0	0				3	2	0	1	3	1	5	0	0	3	2	0				2	3	0	4	1	0
建設業	1	0	0				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	11	6	2	1	7	3	9	8	2	2	14	3	7	9	3	4	13	2				3	12	4	5	11	3
100%	57.9%	31.6%	10.5%	8.3%	58.3%	25.0%	47.4%	42.1%	10.5%	10.5%	73.7%	15.8%	36.8%	47.4%	15.8%	21.1%	68.4%	10.5%				15.8%	63.2%	21.1%	26.3%	57.9%	15.8%
38	17	13	8	5	22	3	18	18	2	3	30	5	9	17	12	6	27	5	2	13	4	4	28	6	8	21	9
100%	44.7%	34.2%	21.1%	16.1%	71.0%	9.7%	47.4%	47.4%	5.3%	7.9%	78.9%	13.2%	23.7%	44.7%	31.6%	15.8%	71.1%	13.2%	10.5%	68.4%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	21.1%	55.3%	23.7%